

OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

方針「グレート・リセット 未来へ!」 会長 竹川 博之

2022-23年度国際ロータリーのテーマ イマジン ロータリー

■会長報告



竹川 博之会長
月も改まり、4月になりました。今月は母子の健康月間となっています。この点について触れてみたいと思います。

生まれてくる子供は生まれる家庭、場所等を選択する事はできません。たまたま生まれ出た状況で、人生を全うする事が出来ない子供が世界中でたくさんいます。毎年、5歳未満で命を落とす子供は世界で推定590万人。その原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防可能なものばかりです。予防可能な原因、すなわち避けることが可能であるにもかかわらず、母と子供が命を落とす事があるとはならないとロータリーは考えています。すべての母子が全て等しく質の高い医療を受けられるよう、そして出産で命を落とす母親がいなくなり子どもがすくすく成長できる様に私たちロータリーアンは支援活動を行っています。その活動の一端をご紹介します。

①ハイチは西半球で母子の死亡率が最も高い国です。

この国で、医療ボランティアと助産師が僻地に住む母と子供

に医療ケアを提供できる様、医療機器を搭載したジープを寄贈しました。(出産前ケアの移動クリニック)

②インドでは、可動式のがん検診機器一式の提供と認識向上を目的として研修支援の実施をしております。

③世界各国で自宅出産を安全に行うため、ロータリー会員が300万ドルを投入して5年間の試験的プロジェクトを開始しています。

この取組みにより2005年以来、産科ろう孔で苦しむ女性たちの尊厳と希望を取り戻すため毎年数多くの方々を治療により救っています。

以上のように私たちは、各国の地域社会で自力での母子の健康を守る為、様々な支援及び研修を実施しています。これらの持続可能性の確保の為の財源として、ロータリー財団への寄付が活用されています。多くのメンバーによるロータリー財団への寄付をお願いしまして、会長報告とさせていただきます。

■ゲスト紹介

(会長) 株式会社NTTドコモ 北海道東支店 ネットワーク課長 若林 大輔 様



■プログラム

(出席委員会)

「自然災害に対する備え等について」

株式会社NTTドコモ 北海道東支店 ネットワーク課長 若林 大輔 様

自然災害に対する備え等について
～NTTドコモの災害対策～



株式会社NTTドコモCS北海道
北海道東支店

目次

1. ドコモの災害対策のご紹介
2. 2016年の台風災害を踏まえた 災害対策
3. 2018年の災害を踏まえた 更なる災害対策

1. ドコモの災害対策のご紹介


NTTドコモの災害対策3原則

NTTドコモでは、設立当初より「災害対策3原則」を定め、システムとしての信頼性の向上、重要通信の確保、通信サービスの早期復旧を実現できるよう、平時より様々な準備を行っています。

- システムとしての信頼性の向上**
 - ・設備の信頼性の向上 (最新機器の導入、冗長化による耐障害性の向上)
 - ・重要通信の確保 (優先サービスの実現、優先サービス専用回線)
 - ・音声通話とIPパケット通信の分離による通信品質の向上
- 重要通信の確保**
 - ・110、119、118の緊急通報
 - ・災害時の緊急通報を行う際に対応する災害時優先通話機能
 - ・音声通話とIPパケット通信の分離による通信品質の向上
- 通信サービスの早期復旧**
 - ・災害対策本部によるエリア復旧
 - ・移動基地局車
 - ・衛星移動基地局車
 - ・移動基地局車・衛星基地局車 等

2011年東日本大震災からの教訓

東日本大震災での対応から、激甚災害における通信確保の教訓を伺い、これを糧に「新たな災害対策」を策定、実行



2011年3月12日時点

震災による影響 (被災地、震災による停電、震災による通信障害)

震災による影響 (被災地、震災による停電、震災による通信障害)

震災による影響 (被災地、震災による停電、震災による通信障害)

東日本大震災を踏まえた新たな災害対策


「新たな災害対策」として下記取り組みを推進し、2012年度までに完了

- ① 重要エリアにおける通信の確保
 - ・人口密集地及び避難所の通信確保を確保
 - ・人口密集地 (110、119、118) ⇒ 人口の約3.5%をカバー
 - ・人口密集地 (110、119、118) ⇒ 人口の約3.5%をカバー
 - ・人口密集地 (110、119、118) ⇒ 人口の約3.5%をカバー
- ② 被災エリアへの迅速な対応
 - ・被災エリアへの迅速な対応
 - ・被災エリアへの迅速な対応
 - ・被災エリアへの迅速な対応
- ③ 災害時のお客様への利便性向上
 - ・災害時のお客様への利便性向上
 - ・災害時のお客様への利便性向上
 - ・災害時のお客様への利便性向上

① 大ゾーン基地局の設置

・広域災害・停電時に人口密集地の通信を確保するため、通常の基地局とは別に、大ゾーン基地局を全国106箇所に設置完了。

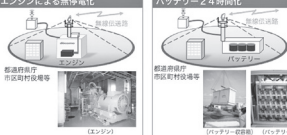
・都道府県毎に概ね2局 (東京は6局、大阪は4局)



LTE方式にも対応済み

② 基地局の無停電化・バッテリー24時間化

停電時にも都道府県庁、市区町村役場等の重要エリアの通信を確保するため、約1900箇所のエンジンによる無停電化、またはバッテリー24時間化対策を実施

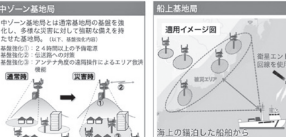


エンジンによる無停電化

バッテリー24時間化

③ 多様な自然災害に対応できる更なる災害対策

多様化する自然災害への備えとして、沿岸部や山間部などの通信確保を目的とした「中ゾーン基地局」の構築や、避難所が狭い山間部から広範囲をエリア化する「地上基地局」の導入など、更なる災害対策に取り組んでいます。



中ゾーン基地局

地上基地局

2. 2016年の台風災害を踏まえた災害対策

2016年台風10号の影響

～弊社通信障害の状況～

発生日時: 2016年9月30日 (火) 19:30頃

発生場所: 新潟、河川の氾濫による土砂崩れや橋の崩壊

被害状況: 電線断断による基地局間の伝送路断 (光ファイバなど)

影響エリアの状況: 道東方面を中心に北海道の広範囲において、携帯電話がつかない、つながりにくい状況が発生。特に、新潟、河川、避難所については被害が深刻化

2016年台風10号の影響

～清水、新潟、鹿沼方面の被災状況～

新潟、河川の氾濫により日輪峠や横長の橋で崩壊が発生



新潟県 新潟市


新潟県 新潟市

新潟県 新潟市

台風10号の災害対策 信頼性向上の取り組み

～伝送路の多ルート化～

さらなる信頼性向上のため、伝送路のルートを増やし、被災した場合の代替ルートを確保する



16年度 (土曜日のエリア)

17年度 (土曜日のエリア)

18年度 (土曜日のエリア)

台風10号の災害対策 サービス早期復旧の取り組み

～衛星移動基地局車等の増配備～

基地局の代替機能を有する衛星移動基地局車等を増配備する



ドコモ衛星移動基地局車

(参考) 衛星移動基地局車等の増配備

●小型衛星移動基地局車 (2017年度 4台増配備)

機動性を考慮した車両 (北海道支社独自)

小型化: 小回りが利く

省スペースに設置可能

普通免許で運転可能

迅速化: 設置時間が早い

安全性: 高所作業が無い



主な設備


- ・衛星移動基地局 (小型)
- ・移動基地局車 (3台)
- ・アンテナポール (15m) ×1本

継続的な災害対策の取り組み

～自治体・防災関係機関との防災訓練～

・自治体の防災訓練、防災関係機関との防災訓練を実施

・有事の際の連携を目的として関係機関との合同訓練も継続的に実施



NTT-G (災害対策本部)

地上設備 (ハブ/電源装置)

海上保安庁 (通信機・無線機)

継続的な災害対策の取り組み

～災害時貸出し備束～

- ・自治体、指定公共機関、避難所等への無料貸出しし備束を配備
- ・携帯電話、携帯電話、タブレット、マルチチャージャー、ドコモM6-FI
- ⇒救助活動/復旧活動への貸出、避難所での通信確保に活用！

**3. 2018年の災害を踏まえた
更なる災害対策**

2018年 台風21号及び北海道胆振東部地震概況

台風21号による記録的な暴風の影響により関西・東海を中心に広域停電が発生
北海道胆振東部を震源とするM6.7の地震により北海道全域停電が発生
同時期に規模の大きな災害が発生する複合災害となりNW被害も多く発生

通信設備の被害状況

台風21号及び北海道胆振東部地震の同時発生という複合災害により、最大の2,800局のサービス中断が発生
ドコモG、及び関係会社が一丸となり延べ約2,500名体制で復旧を実施

被災地エリアにおける復旧活動

被災地を中心に移動基地局車を設置し迅速なエリア救済を実施

2016年の台風災害を踏まえた対策として追加配備した小型衛星基地局車が有効に機能
被災地、避難所への7つの移動基地局車を設置

大ゾーン基地局によるエリア救済

・釧路市中心部において停電の長期化により広範囲にわたり基地局のサービス中断が発生したことから全面で初めて大ゾーン基地局を運用しエリア救済を実施(市中心部から半径3kmの範囲を救済)

東日本大震災の教訓を受け整備した大ゾーン基地局を初めて運用
9/6(日)16:26
9/7(月)14:45

N-TT新設大ゾーン基地局

無料充電サービスの提供

・北海道全域停電が発生したことを受け、避難所等に設置、ドコモショップ及び自社ビルの開放により積極的な無料充電サービスの提供を実施

被災地の避難所支援

被災地の避難所支援を実施(釧路市、安平町、むかわ町、札幌市清田区等)
・無料充電サービスコーナーの設置
・公衆無線LAN(Wi-Fi)サービス「0000 JAPAN」の開設

【主な避難所支援施設】
市立、安平町、むかわ町、日高町、苫小牧市、札幌市清田区・東区・白石区
災害対応充電器 52ヶ所 63台
Wi-Fiルーター 13ヶ所 18台

自治体との連携 (リエゾン派遣)

●リエゾン派遣
北海道庁 9月6日～10日(5日間)
札幌市役所 9月6日～10日(5日間)

更なる災害対策の推進

「台風21号及び平成30年北海道胆振東部地震での新たな課題」「広域かつ長時間停電の備え」「複合災害への準備」

ALLドコモとしての災害対応力の強化

- 広域・長時間停電への備え
ドコモショップの緊急集合や無線充電システムの開発・導入、16の災害対策拠点強化
- 重要通信の確保・伝達に当り
重要基地局の災害対策機能による信頼性強化
伝達手段の多岐化
- 通信サービスの早期復旧
災害発生直後の機能強化(可搬型設備等)
衛星通信機能の拡大
- 被災地支援強化
衛星IPアドレスの高度化
衛星IPアドレス・タブレットの機能強化

2年間で200億円規模の災害対策を追加実施

ドローン中継局によるエリア救済

ドローンに専用の小型中継局を搭載し、被災地のドコモの基地局電波を上空で捉えて中継することで、災害などで被害を受けたエリアに臨時のエリアを形成
・陸上から電源を供給し、待機した状態で運用

セコム様との災害時連携協定

エリア復旧と被災者支援を目的に連携協定を締結

■会務報告

櫻井 博一 幹事

- ①帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日 時 4月17日(月)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日 時 4月22日(土)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
※尚、4月20日(木)の繰下げ例会と致します。
- ③帯広北・帯広東・音更、3RC合同例会開催のご案内
日 時 4月25日(水)午後0時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広北RC、4月28日(金)の繰上げ例会と致します。
- ④帯広RC、夜間例会開催のご案内
日 時 4月26日(水)午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ⑤帯広南RC、5月1日(月)の例会は、休会と致します。
帯広東RC、5月2日(火)の例会は、休会と致します。
帯 広 RC、5月3日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。
帯広西RC、5月4日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。
帯広北RC、5月5日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

◎新会員紹介

(会員増強委員会)

あ か え か ず ひろ
赤江 一浩 君 紹介

推薦者：小沢 昌博 会員・飛岡 抗 会員



【ニコニコ献金】

(親睦活動委員)

- <飛岡 抗 会員・小沢 昌博 会員>
この度、新入会員 赤江一浩さんを入会させていただきました。
よろしくお願い致します。
- <赤江 一浩 会員>
この度、歴史と伝統のある帯広ロータリークラブに入会させていただきました、ありがとうございます。
- <吉岡 央 会員>
本日講話を担当させていただきます。皆様の災害対策の備えの一助になればと思っております。
- <誕生記念日祝(3月)>
竹森 直義 会員
私と妻の誕生日を迎えることができました。ありがとうございます。
- <配偶者様お誕生記念日祝(3月)> 竹森 直義 会員
<配偶者様お誕生記念日祝(4月)> 高原 淳 会員
<結婚記念日祝(4月)>
竹川 博之 会員 小白 智志 会員 小沢 昌博 会員

【出席報告】

会員総数:88名(内 免除会員3名)
出席者数:53名(内 免除会員0名 内zoom参加者1名)
本日の出席率:62.4%

■4月のプログラム予定

- 4月12日(水) 「リーダーシップとは」(ロータリー情報記録保存委員会)
4月19日(水) 「新会員卓話」(プログラム委員会)
4月26日(水) 「ロータリー財団グローバル補助金
マレーシアクリーンウォータープロジェクト報告」
2019-20年度会長 小沢 昌博 会員
(ロータリー財団委員会)



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日/水曜日 12:30～13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234
●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日
●事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
●発行/クラブ広報
●委員長/千葉 直樹・副委員長/五十嵐聖二・玉木 健
委 員/内木 敬典・荒井 純一・成田 浩之・金山 紀久
●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>